



これより
トレーニングを
はじめる！

全員
指示を待つように！



ハイッ!

ではまずは敬礼!

お前たちは
クライアントの
性処理のためだけに
存在する!

ハイッ
そのとおりです!



ハイッ!

射精コントロールの
訓練をはじめる!

よし
そのまま
姿勢維持!

遅すぎても
早すぎても
認めないぞ!

こちらの指示と同時に
射精するように!





イ、
いきます！

時間だ！
イってよし！

ハイッ！
みじめに射精させて
いただきます！

みじめに
精子をぶちまける！



それでは
次のトレーニングに
うつるぞ！

も、申し訳ありません
次はもっと精進します

うむ
まあ射精量は
もう少し欲しい
ところだが
及第点といった
ところだな



では
次の訓練にうつる――

お前たちは
クライアントの
どんな性器も
受け入れなければ
ならない！

よって
アナル強化訓練だ！





お前の胃袋まで
全部がクライアントの
性処理のために
あるのだからな！

もっとだ！
もっと奥まで
挿入しろ！

ハイ！！

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ



クライアントの
チンポだと思っ
て貴様らのアナル
で必死に愛撫し
ろ！

まだいくなよ！

許可なく射精
することは許
されないぞ！

アホ

アホ

アホ



よし
いやしく精子を
ぶちまけるッ!

クライアントを
楽しませるように
派手に射精しろ!

ハ、ハイ!

ビュ
ビュ
ビュ
ビュ
ビュ

ビュ
ビュ
ビュ
ビュ
ビュ





では二人組で
交尾の訓練だ！

お前たちは
どちらも完璧に
こなさなければ
ならない！



ハイッ!

ウケ側は
四つだけ
なるでい
アナルをし
締める!

それでは
タチ側は挿入しろ!



もっと
奥まで挿入しろ！

ハ、ハイッ！

お前らの
チンポもアナルも
クライアントのために
あるってことを
肝に銘じておけ！

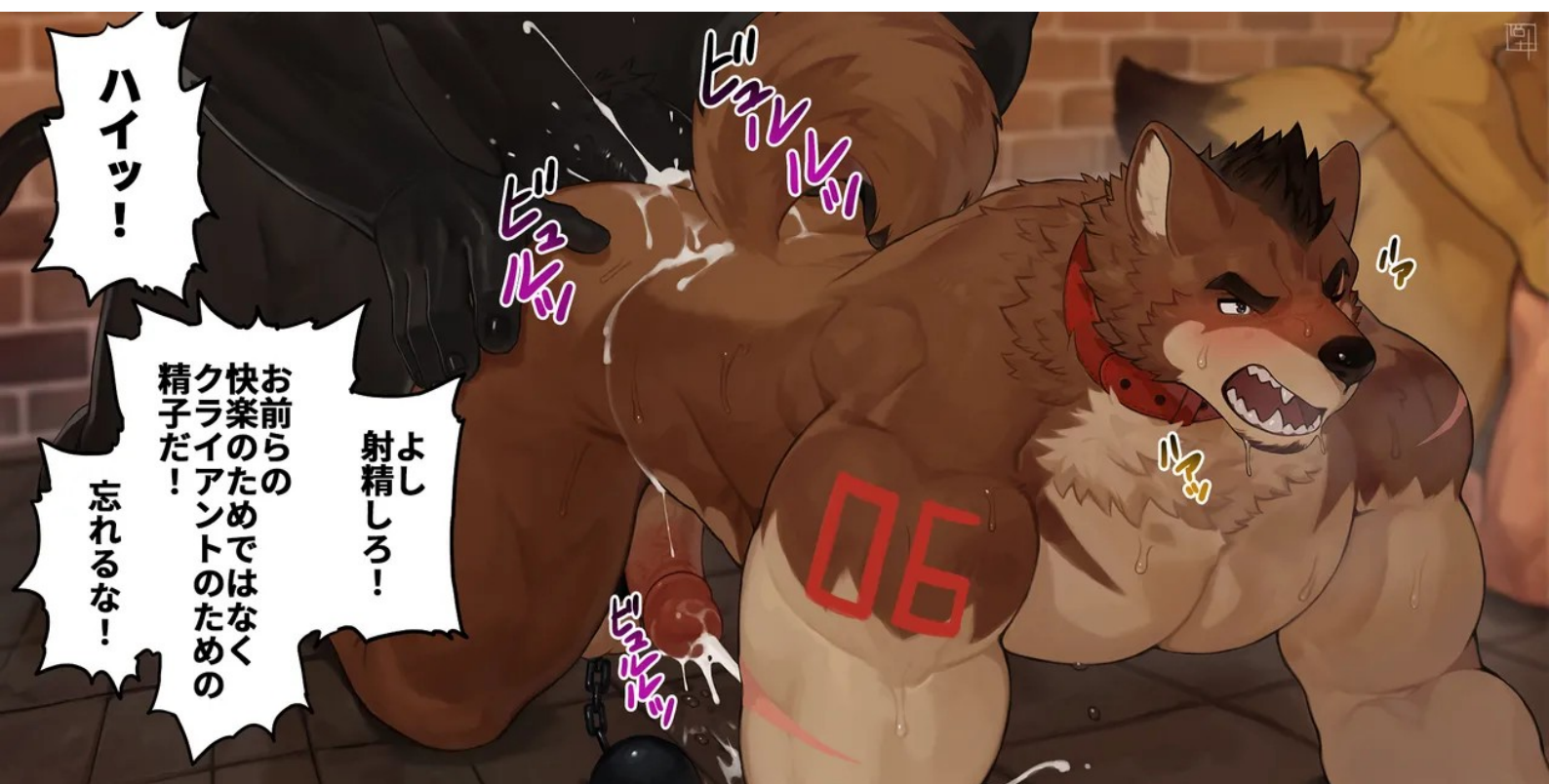
ズッ
ズッ
ズッ...

んんん



もっとなだ！
もっとなだしく
ピストンしろ！

そんなものでは
クライアントは
満足して
くだらないぞ！



ハイッ!

お前らの
快楽のためではなく
クライアントのための
精子だ!

忘れるな!

よし
射精しろ!

ビュルッ

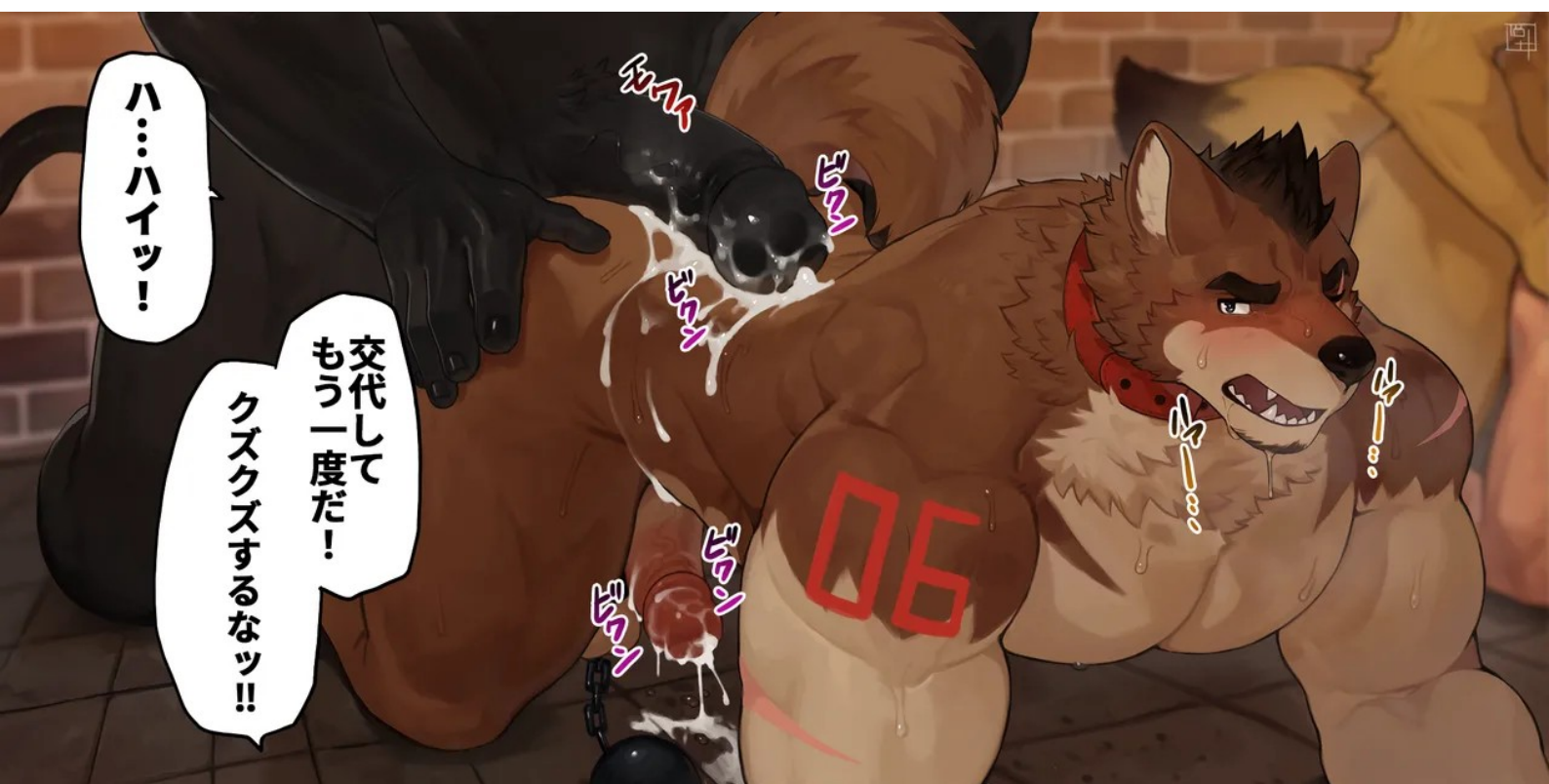
ビュルッ

ビュルッ

ハッ

ハッ

06



ハ…ハイッ!

交代して
もう一度だ!

クズクズするなッ!!

ビーン

ビーン

ビーン

ビーン

ビーン

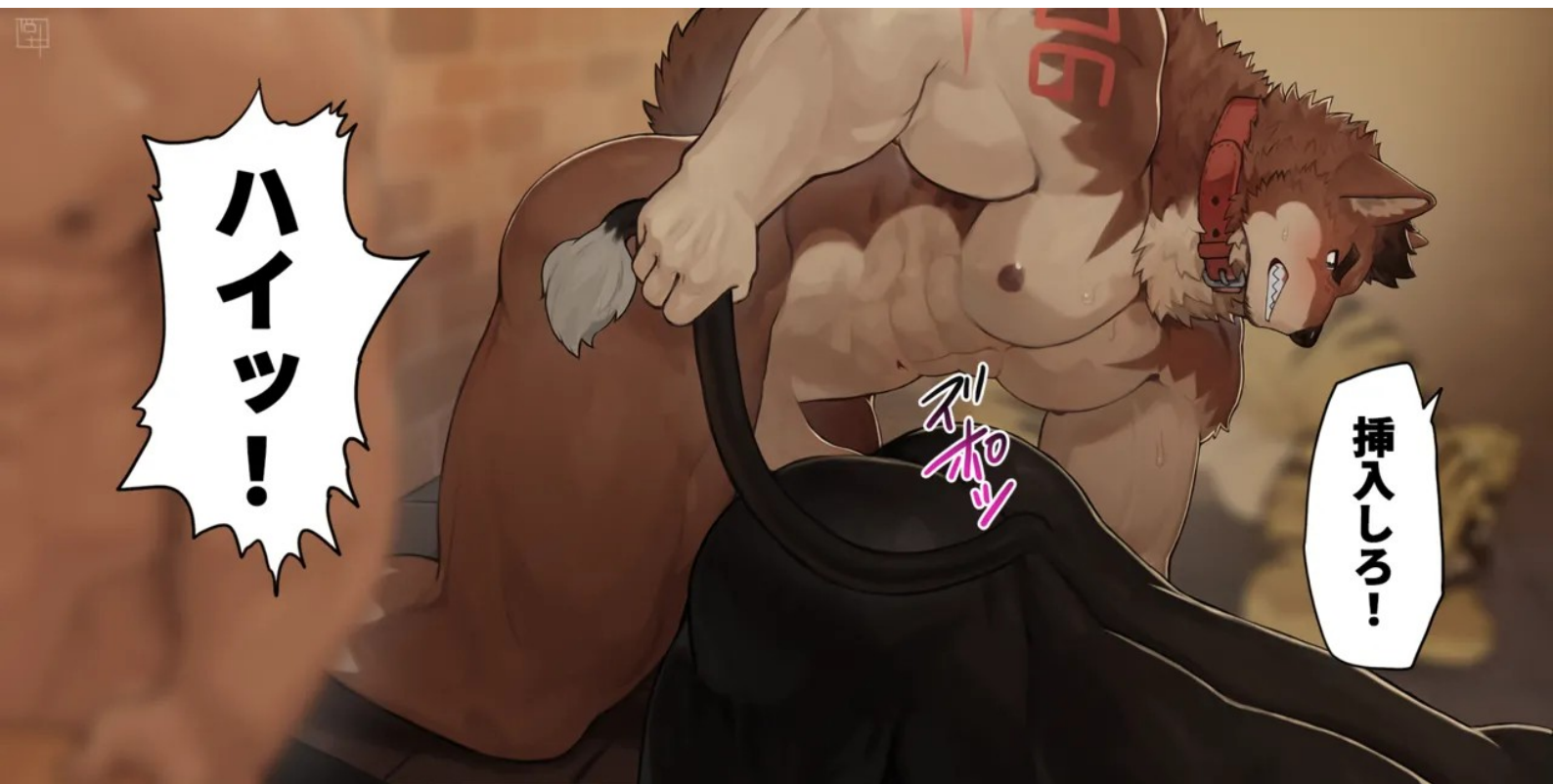
ハッ…

ハッ…



タチとウケを
入れ替えて
トレーニングを
はじめるぞ！

位置につけッ！



ハイッ!

挿入しろ!

ズッ



なんだ
その情け
はない
ピストン

それでもオスか！
もっと激しくしろ！

ハッハイ！



ハイッ!

もっとだッ!

ハッ

グッ

グッ

グッ

ハッ

ハッ

グッ



しょほい射精など
するんじゃないぞ！

ハ…ハイツ！

よしっ！
射精しろ！



よし——
いいだろう

それでは今日の
トレーニングは
これにて終了する！

だが六番！
貴様はこれから
特別に
個別トレーニングを
つけてやる！

ついでにー！

ハ、ハイ！
ありがとうございます！



ハイツ!

よし、
これから
特別
トレーニングを
はじめるぞ

その机に乗れ、6番

ビクッ

ビクッ

ビクッ



今回は俺が直々に
トレーニングに
つきあってやるぞ

嬉しいだろう？

ハイッ！

俺の淫乱な
ケツを好きに
つかってください！



その素直さ、いいぞ
日頃のトレーニングの
賜物だな

よし、それでは
挿入してやるぞ！

ビーン

スホッ!!

ンッ！

ありがとうございます！
ございます！



ケツの方も
ほどよい締めりだ

やはりお前は
一番優秀な
肉便器だな！

ンンッ！

ありがとう
ございます！

アッ！

もっと淫らな
肉便器になりたいですッ！





ふう
なかなか良かったぞ

お前ももう
立派な肉便器になった

明日からクライアントを
あてがってやろう

ありがとう
ございます

光栄です！

肉便器として
奉仕させて
いただきますッ！